

大学コンソーシアム富山 令和7年度「富山学」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「富山学」
実施機関名／ 担当教員	富山大学 奥 敬一（富山大学芸術文化学部教授）
趣旨・目的	・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 ・地域に暮らすひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 ・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。
開催日時	令和7年9月2日(火)、9日(火)、16日(火)、30日(火)
開催場所	大学コンソーシアム富山駅前キャンパス研修室1 五箇山合掌造り集落・立山室堂周辺
参加人数	学生 45名 【内訳】 ・富山大学（39名） ・富山県立大学（6名）
事業内容	○第1日目（9/2） 第1回 ガイダンス 講義全体の進め方、フィールドワークについて注意事項、成績評価等についての解説 富山県の基礎情報；統計からみた富山 第2回 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ。 第3回 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する。 ○第2日目（9/9） 第4回～第7回 立山室堂および弥陀ヶ原でのフィールドワーク（立山の自然と景観を維持するための取り組みについて） 現地講師：環境省 中部山岳国立公園 立山管理官事務所 国立公園管

理官

8:45 富山大学五福キャンパス出発
立山室堂等で4時間程度見学
16:30 富山大学五福キャンパス到着

○第3日目(9/16) 第8回～第11回

庄川流域現地見学 世界遺産五箇山合掌造り集落でのフィールドワーク(世界遺産を維持するための取り組みと茅刈り体験)～砺波平野散村景観の文化的価値について
現地講師:五箇山自然文化研究会会員

8:45 富山大学五福キャンパス出発
五箇山等で文化遺産維持に関わる体験と見学

16:30 富山大学五福キャンパス到着

○第4日目(9/30)

第12回 ここまでの振り返り

初日の事後学習、および2、3日目のフィールドワークで学んだ内容について振り返る。

第13回 富山の自然と文化(生物多様性)

富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する

第14回 富山の歴史と文化(生活文化の景観)

富山県内の自然環境に育まれた特徴的な生活文化の景観について解説する。

第15回 総括

レポートにもとづくグループディスカッションと「富山学」のまとめ



CiC 研修室での講義の様子



立山現地実習での様子